

中央公園への民間活力導入に関するサウンディング型市場調査（第2回）の結果について

1. 背景と目的

中央公園は、平成6年のリニューアルから30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる。一方、公園内には西郷隆盛銅像があり、多くの観光客が訪れ、観光資源として重要な役割を果たしている。

そこで、中央公園に民間の優良な投資を誘導し、公園機能の充実、公園の魅力向上を図り、市民の利用促進及びさらなる観光客の誘致につなげるため、民間活力の導入について検討を進めている。

2. これまでの主な経過

令和7年 9月 サウンディング型市場調査（第1回）： 3事業者と個別対話

- ・カフェレストランやコンビニなどの提案
 - ・民間の投資を誘致できる魅力的な場所であり、既存施設の改修も民間資金で可能
- ※ただし、第1回の調査対象エリアは「ふれあい広場の一部」と「西郷銅像撮影広場」の2箇所を基本としたが、それ以外の場所での提案も可能とした。

3. サウンディング型市場調査（第2回）

（1）調査目的

現時点での公募条件（案）等の一部を開示し、民間事業者による事業への参画意向を確認するとともに、活用のノウハウ・アイデアを把握することにより、より良い公募条件のあり方を確認するもの。

（2）想定する事業方式

公募設置管理制度（Park-PFI）を活用した民間事業者による公園施設の設置及び管理

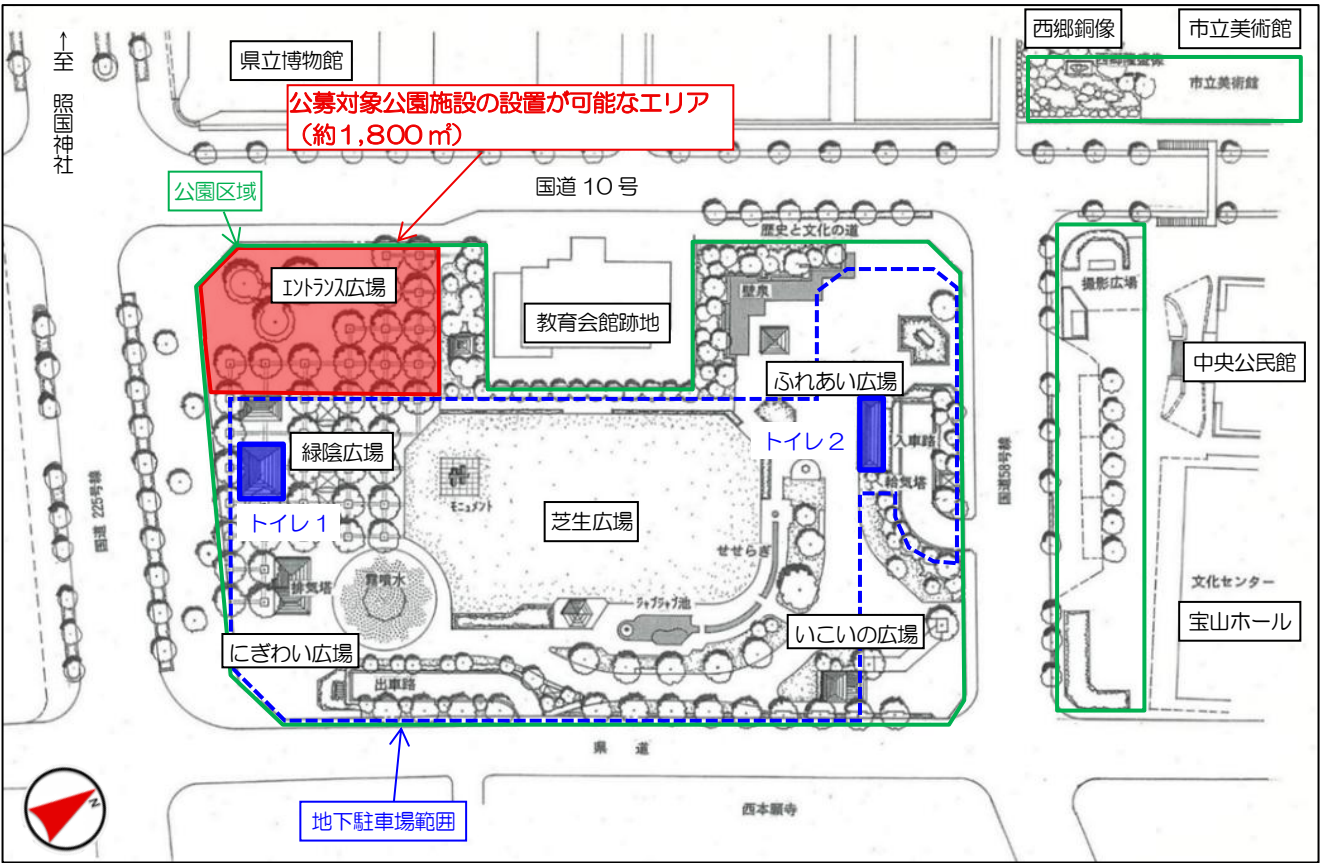
（3）公募条件（案）

- ①公募対象公園施設
飲食、物販などの便益施設をエントランス広場内に設置し、施設面積に応じて使用料を納付
- ②特定公園施設（公募対象公園施設から生ずる収益を活用して民間事業者が改修・設置を行う施設）
既存トイレの改修（2棟）を必須とするほか、自由提案で既存施設の改築や施設の新設を行う。
- ③費用負担
公募対象公園施設の設置及び管理、特定公園施設の設置に係る費用は全て事業者負担
- ④事業期間 20年以内

（4）実施状況

令和8年5月～6月 3事業者と個別対話

■公園平面図



（5）提案内容等

- A社：コンビニと併設店舗、駐車場を設置
- B社：公募対象公園施設を提案する事業者と連携して、特定公園施設の整備での参画を検討
特定公園施設については、必須施設であるトイレ2棟の整備に多額の費用を要すると、自由提案に充てられる費用が少なくなる。
- C社：カフェと駐車場を設置
- 3事業者共通：現時点での公募条件（案）で参画可能

4. 今後の対応

現時点での公募条件（案）に対し、事業者の参画意向が確認できたことから、引き続き公募に向けて検討を行う。